

Doc.No: NR000121

2000年1月21日

SGMLなどの情報処理を見据えた自動組版編集ソフトをリリース

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区/社長:石田明)は、Windowsのプロ用自動組版編集ソフトウェア「AVANAS BookStudio(アバナス・ブックスタジオ)」を2000年3月下旬から販売します。

印刷情報のデジタル化が進展する一方で印刷単価が下落するなか、いかに印刷物の制作費を削減するかが課題になっています。特に、数百から数千ページにも及ぶ大量のページ組版が発生する百科事典や辞書をはじめ、公文書、法令集、学術書などは、決められた書式で一見簡単に制作できそうに見えますが、縦組み、ルビ、割注、振り分けなどの日本語特有の複雑で手間のかかる組版や大量情報の編集作業が求められ、コスト高の要因となっています。そこで、大量の文書情報を保有するデータベースを利用して制作コストを削減したい、さらに、制作したデータをデータベースで再利用して編集を効率化したというニーズが増加しています。

当社は、このような要求に応えて、SGML^{*1}やXML^{*2}のデータベースを利用した自動組版編集(バッチ組版)ができ、かつ、従来のDTPソフトでは十分サポートされていない日本語特有のきめ細かい組版機能を搭載したWindows編集ソフト「AVANAS BookStudio」を開発しました。併せて、このソフトは、1997年6月から販売しているWindows DTPソフト「AVANAS」シリーズに組み込まれている図形・画像・製版機能もサポートし、対話編集とバッチ組版処理で高生産性を追求しています。出力は、印刷システムにフレンドリーなPostScript(ポストスクリプト)です。

注1: SGML = Standard Generalized Markup Language。見出し、本文、注、ルビ、目次などの文書の構成要素を事前に定義し、文書中のテキストにその要素(例えば本文)を宣言(マークアップ)し、文書を構築する言語。電子文書をデータベース化するのに適した言語といわれ、1986年に国際標準となる。

注2: XML = eXtensible Markup Language。WWW上で情報(構造化文書)を発信するための言語で、WWW情報で主に使用されているHTML言語では実現できないようなコミュニケーション手段を提供できる。

< 販売価格・消費税別 >

希望小売価格

: 「AVANAS BookStudio」ソフトウェア
1,200,000 円

「WD-600i98」ハードウェア
598,000 円

注: ハードウェアの仕様は、予告無しに変更されることがあります。

< 販売予定本数 >

300本/年

< 販売開始日 >

2000年3月下旬



「WD-600i98」に搭載された「AVANAS BookStudio」

この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下URLよりダウンロードできます。

(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)

特長

- ・オープンシステム環境
OSにはビジネスシーンにおいて主流となっているWindowsを採用。テキスト・画像などの作成ソフトも有効活用。
- ・バッチ処理とWYSIWYGの2モード編集
タグ付きテキストを取り込み、バッチ処理と対話編集(WYSIWYG)を融合させた高い生産性を実現。
- ・高品質な組版と豊富な外字
本格的な日本語組版のノウハウを凝縮しているため、美しく可読性の高い組版品質を提供。また、さまざまな出力環境にもフレキシブルに対応でき、漢字だけでなく記号や約物類を含む外字フォントを揃え、書籍なども処理可能。
- ・SGMLコンバータ
SGMLコンバータは、「AVANAS BookStudio」とSGMLやXMLデータベースとのインターフェース。このコンバータを用いて、SGMLやXMLデータを「AVANAS BookStudio」に取り込めるタグ付きテキストに変換できる。また、逆に「AVANAS BookStudio」で編集した文書データをSGMLやXMLデータに変換できる。出版物とSGMLやXMLデータベースの一元管理が可能。(SGMLコンバータは別売)
- ・豊富なタグをサポート
表や数式など、SGMLデータベースと連携した組版のタグも豊富にサポート。
- ・メモ機能
出力結果としては現れない情報をメモとしてタグ付き文書の文字列に付加。タグ付きテキストからSGMLのコンバート時にも、SGML特有の情報なども付加情報として保持。
- ・充実したスタイル設定
テキストや段落はもちろん、表組や数式など様々なスタイルを設定できる。組版のほとんどをタグとして設定して自動編集できるため、生産性が飛躍的にアップ。主な組版機能は、表組の自動分割、段抜き、浮動枠、個別スタイル登録、修正時の一括更新、マクロ機能、OLE機能などがある。

ハードウェアの概略仕様

型番	: WD-600i98
CPU	: 600MHz
ディスプレイ	: 19インチカラーモニター

【お客様からの製品に関するお問い合わせ先】

グラフィックアーツ事業本部ページネーション部(東京):03-3989-3667